

「防災立国実現を目指して～東日本大震災15年とこれからのBOSAI～」 座談会にて、当社の取組みや今後の展望について紹介しました

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、令和8年6月7日に宮城県仙台市で開催された座談会「防災立国実現を目指して～東日本大震災15年とこれからのBOSAI～」に参加しました。同座談会は、防災立国の実現を目指し、仙台防災枠組の採択や、防災環境都市づくりなど様々な取組みを実施されている仙台市をテーマとして開催されました。

同座談会では、東北大学 今村副学長を司会として、「東日本大震災から15年の振り返り」「現在の防災の取組み」「他地域への貢献」「今後の展望」の4つのテーマについて、下記の【座談会概要】に示す登壇者により意見交換がなされました。

郡仙台市長からは、仙台市において「防災環境都市」を掲げ「まちづくり」「ひとづくり」「経験と教訓の伝承」の3本柱で総合的な取組みを実施していること、2024年にわが国で初めて国際連合から「MCR2030 レジリエンス・ハブ」に認定されたこと、来年秋にはアジア太平洋防災会議の開催を予定していること、今後もこれまでの経験と知見を活用し国内はもとより世界の防災力向上に貢献していくこと等のお話がありました。

なお、弊社の野崎代表取締役社長からは以下の話題提供を行いました。

- ・東日本大震災後の復興支援として、陸前高田市における復興まちづくりや、三陸沿岸道路の道路・橋梁・トンネル等の計画・設計に長年参画してきたこと
- ・近年では、3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化と防災教育への活用、衛星データやAIによる被災状況の把握、生成AIを活用した防災行政支援に取り組んでいること
- ・福島県富岡町で実施している「夜ノ森プロジェクト」について、東北大学、地元のフタバ様、弊社の3者で、3D都市モデルを活用して市民の帰還支援や地域活性化の施策を検討していること
- ・今後はDX・AIを活用し、防災から復旧・復興、まちづくりまで総合的に取り組んでいくこと

【座談会概要】

- ・日 時：令和8年6月7日（日）11:15～12:30
- ・会 場：ホテルメトロポリタン仙台（仙台市青葉区中央 1-1-1）
- ・主 催：時評社
- ・司 会：東北大学副学長 今村 文彦 氏
- ・登壇者：仙台市長 郡 和子 氏
 気象庁長官 野村 竜一 氏
 (株)深松組代表取締役社長 深松 努 氏
 (株)オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長 野崎 秀則
- ・掲 載：月刊『時評』8月号に掲載予定

【登壇者の集合写真】



(左から、(株)オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長 野崎秀則、気象庁長官 野村竜一氏、
仙台市長 郡和子氏、東北大学副学長 今村文彦氏、(株)深松組代表取締役社長 深松努氏)

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551、FAX: 03-6311-8011
URL: <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、日原、丸山、門司